

県外派遣報告書

審判員名（報告者）	小原 宏太	所 属	U18東部 カテゴリー
大会名	令和 8年度 関東高等学校男子バスケットボール大会		
期 間	令和8年 6月6日～7日		
会 場	日環アリーナ栃木		
ス ケ ジ ュ ー ル			
期 日	内 容	場 所	
6月 3日	審判会議、研修会	ZOOM 会議 参加者自宅他	
6月 6日	1・2回戦	日環アリーナ栃木	
6月 7日	準決勝・決勝	日環アリーナ栃木	
審判会議、研修会 講義内容			
【レクチャー】			
●猪股 祐介氏			
<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールをできることにどんな時も集中する。事前準備・IOT・コールの有無・自分の反応や行動・プレゼンなど。 ・コントロールをできないことには大きく反応しない。プレイヤーやコーチの反応・インストラクターからの評価・自分の感情など。 ・いつでもできるようにするために、負荷をかけつつ、コツコツと小さな「できた」を積み重ねる。 			
●高野 晃平氏			
<ul style="list-style-type: none"> ・モチベーションの保ち方について。今は変化とそのプロセスを楽しむようにしている。成功の秘訣は「変わり続けることを楽しむ」 ①目標に縛られない。 ②試行錯誤を重ねる。 ③日々の変化を感じる。 			
●大野 太裕氏			
<ul style="list-style-type: none"> ・レフリーIOT の使い方で、自分の都合に合わせていないか。様々な用語がある中で、ポストカンファレンスなどで誤魔化すために使っていないか。例えば、吹けなかったときに「ファールバランスが・・・」など。 ・ ①コート上で結果を出すこと。 ②ライセンスが先かステージが先か。目標としているステージでの吹き方をまずしていた方が早いと考える。 			
担当試合①			
期 日	6月6日（土） 1回戦 男子 Aブロック		
対戦カード	県立宇都宮工業高等学校（栃木） vs 八王子学園八王子高等学校（東京）		
ク ル ー	CC：猪股祐介氏（指名） U1：小原 宏太（埼玉） U2：佐藤賢氏（茨城）		
ミーティング内容	審判主任：高野晃平氏（指名）		
▶ゲーム前の PGC			
<p>インサイドのキープレイヤーやチームの特徴を確認し、メカニクスへ繋げる共有をした。様々なゲーム展開を予想し、それぞれに応じた良い進め方・終わり方を確認した。3人の協力で100点を目指せばよい。助け合いながら取り組むこと。</p>			
▶ゲーム後のミーティング			
<p>吹かなくてよいものもあった。メカニクスとプライマリー、セカンダリーで吹くのであればプライマリーの判定を待ってから吹く必要があった。クレーワークの部分で24秒かヘルドボールかが微妙なケースがあったが、審判同士でコミュニケーションをとり、よりよい答えを出せた。プレゼンテーションの磨きが必要。</p>			

担当試合②	
期 日	6月6日(土) 2回戦 男子Bブロック
対戦カード	つば秀英高等学校(茨城) vs 常盤高等学校(群馬)
ク ル ー	CC:小原 宏太(埼玉) U1:平山 智章氏(栃木) U2:今井 廉輔氏(栃木)
ミーティング内容	審判主任:阿久沢 尚夫氏(群馬)
<p>▶ゲーム前のPGC</p> <p>チームの特徴 各自の紹介と課題の共有 ベーシックの確認など タフ・クリーン・スムーズ、ベーシック・プライマリー・クルーワークを意識していればという確認。</p> <p>▶ゲーム後のミーティング</p> <p>クルーが思っているよりも、お互い激しいディフェンスに対して、整理することができていた。なにかがあるときにはほとんどで誰かが鳴っていた。POCよりこだわることやオフボールやリバウンドで正當にプレーしていないものを長く見て正しくコールしていくとファール数が減っていくことが予想できる。</p>	
全体の感想	
<p>この度は関東高校男子バスケットボール大会に派遣いただき誠にありがとうございました。</p> <p>県内での活動でも日頃から貴重な経験をしてきましたが、このような県外派遣では他県のS級審判の方々からのレクチャーや主任に入っただいての講評が非常に勉強になります。今回はU18所属以外の方々も多くおり、間近でレフリー姿を拝見することができました。レポートでのプレゼンテーションはもちろん、細部へのこだわりを感じました。また、メカニクスの重要性も改めて理解することができました。3人の審判員が協力をして正しくゲームを進めることにあたり、良い場所・角度・距離・分担などメカニクスの徹底ができれば正しい判定ができるということに再度気づかされました。今後もやるべきことの理解と徹底ができるように精進してまいります。</p> <p>最後になりましたが、若林審判部長をはじめ、埼玉県審判部の皆様、本大会に派遣いただきありがとうございました。そして、親切に対応してくださいました梶様をはじめとする栃木県バスケットボール協会審判部の皆様、関東ブロック審判長平原様、ご講義いただきました指名審判員 大野様、高野様、猪俣様、大会期間中にお世話になりました全ての役員の皆様に感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。</p>	

県外派遣報告書

審判員名（報告者）	荒木 崇斗	所 属	U18西部 カテゴリ
大会名	令和 8年度 関東高等学校男子バスケットボール大会		
期 間	令和8年 6月6日～7日		
会 場	日環アリーナ栃木		
ス ケ ジ ュ ー ル			
期 日	内 容	場 所	
6月 3日	審判会議、研修会	ZOOM 会議 参加者自宅他	
6月 6日	1・2回戦	日環アリーナ栃木	
6月 7日	準決勝・決勝	日環アリーナ栃木	
審判会議、研修会 講義内容			
【レクチャー】			
●猪股 祐介氏			
<ul style="list-style-type: none"> ・コントロールをできることに集中する。アンコントロールなものに影響されすぎない。 ・コントロールをできるものについて、いつでもできるようにする。 ・いつでもできるようにするために、無意識で行っているものをあえて意識して取り組んでみる。 			
●高野 晃平氏			
<ul style="list-style-type: none"> ・モチベーションの保つうえでも、結果（目標）のみを原動力にしない。 ・目標に縛られすぎず、試行錯誤を繰り返す中で「変化」を求める。 			
●大野 太裕氏			
<ul style="list-style-type: none"> ・プレゲームカンファレンスやポストカンファレンスでの合理化のための IOT になっていないか。 ・オンザコートで表現する。 ・ライセンスではなく、ステージを求める。例えば、トップリーグを吹きたい、全国大会を吹きたいなど ・目指すステージの審判員とのコミュニケーションを大切に。今できることをコート上で出し切る。 			
担当試合			
期 日	6月6日（土） 1回戦 男子 Bブロック		
対戦カード	県立下妻第一高等学校（茨城） vs 帝京高等学校（東京）		
ク ル ー	CC：荒木崇斗（埼玉） U1：長沼大平氏（山梨） U2：藤木千仁氏（栃木）		
ミーティング内容		審判主任：茂泉 圭治氏	
▶ゲーム前の PGC			
<p>ベーシックなメカニクスの確認。メカニクスを徹底することでプライマリーのコールへつなげる。</p> <p>チームの情報を共有し、3人で協力してゲームを運営できるようクルーワークを大事にすることの確認。</p>			
▶ゲーム後のミーティング			
<p>個人的に、リードの位置取りが悪いケースがあり、そのときにセカンダリーでコールしてもらったことがあった。足元の整理。4クでコールしたトラベリングについて、ゲーム序盤から同じような踏み替えがあったので最初から整理したかった。2人で鳴ったケースでは、ショットの成否やシューターの確保、全体への伝え方などクルーワークを発揮する場面だったので、自分のやるべきことをはっきりと。</p>			

全体の感想

この度は関東高校男子バスケットボール大会に派遣いただき誠にありがとうございました。

今回初めての県外派遣となり、たくさんの気づきや学びがありました。ゲームに入るまでの準備やコート上での振舞いなど、自身に足りないものが数多くあるということを改めて感じる事ができました。そのなかでも、正しい判定のためのメカニクスを徹底すること、判定の根拠を自分の中でより明確にしてグレーゾーンを狭めていくことが特に必要だと感じましたので、課題克服へ向けて努力を続けたいと思います。

若林審判部長をはじめ、埼玉県審判部の皆様、本大会に派遣いただきありがとうございました。また、梶様をはじめとする栃木県バスケットボール協会審判部の皆様、関東ブロック審判長平原様、レクチャーを行っていただきました指名審判員 大野様、高野様、猪俣様、大会期間中にお世話になりました全ての役員の皆様に感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

県外派遣報告書

審判員名(報告者)	須崎 優斗	所 属	社会人 カテゴリー
大会名	令和 8年度 関東高等学校男子バスケットボール大会		
期 間	令和8年 6月6日～7日		
会 場	日環アリーナ栃木		
ス ケ ジ ュ ー ル			
期 日	内 容	場 所	
6月 3日	審判会議、研修会	ZOOM 会議 参加者自宅他	
6月 6日	1・2回戦	日環アリーナ栃木	
6月 7日	準決勝・決勝	日環アリーナ栃木	
審判会議、研修会 講義内容			
【レクチャー】			
●猪股 祐介氏			
・コントロールできることに集中し、コントロールできない事象に影響されすぎない。			
・コントロールできることを、いつでも発揮できる状態にしておく。			
・無意識で行っていることをあえて意識することで、技術や習慣の定着につなげる。			
●高野 晃平氏			
・結果や目標だけをモチベーションの源にしない。			
・目標に縛られすぎず、試行錯誤の中で変化や成長を求める。			
・日々の取り組みの中で新たな発見や気づきを大切にする。			
●大野 太裕氏			
・プレゲームカンファレンス、ポストゲームカンファレンスでの合理化するための IOT にしない。			
・話し合った内容をオンザコートで表現する。			
・ライセンスではなく、自身が目指すステージを明確にする。			
・目標とするステージで活動する審判員とのコミュニケーションを大切にする。			
・今できることをコート上で出し切る。			
担当試合			
期 日	6月6日(土) 1回戦 男子 Bブロック		
対戦カード			
ク ル ー	CC : 塚越 洋平氏 (群) U1 : 小松 幹太氏 (栃木) U2 : 須崎 優斗 (埼玉)		
ミーティング内容		審判主任 : 中嶽 希美子氏	
▶ゲーム前の PGC			
メカニクス・プレーコーリングなどを映像で確認した。			
▶ゲーム後のミーティング			
・高身長留学生への対応やペイントエリア周辺の判定、ファウル基準の一貫性がポイントとなるゲームであった。			
・クルー全体で協力しながらゲームを進める姿勢は良かったとの評価をいただいた。			
・一方で、どのようなコンタクトをファウルとするのかについては、クルー内でより共通理解を持つ必要があることを確認した。			
・ベンチやチームが意図するプレーを理解しながらゲームをマネジメントすることの重要性について共有した。			
・コンタクトの発生要因や RSBQ の変化を踏まえ、プレー全体を捉えながら判定することの必要性を確認した。			

全体の感想

この度は関東高等学校男子バスケットボール大会に派遣いただき、誠にありがとうございました。

今回、初めてこのような大きな規模の大会に参加させていただき、自分自身も実際に笛を吹く中で、オンザコート・オフザコートの両面で多くの刺激を受けることができました。トップカテゴリーで活動されている審判員の方々の準備や立ち振る舞い、ゲームへの向き合い方に触れ、自身に足りない部分や今後取り組むべき課題を改めて認識する機会となりました。

また、ゲームでは正しい判定につなげるためのメカニクスの徹底や、判定の根拠をより明確に持つことの重要性を感じました。今回の経験を今後の活動に生かし、一つひとつ課題を克服できるよう努力してまいります。

若林審判部長をはじめ埼玉県審判部の皆様、本大会への派遣に際しご尽力いただきありがとうございました。また、梶様をはじめとする栃木県バスケットボール協会審判部の皆様、関東ブロック審判長の平原様、レクチャーをいただいた大野様、高野様、猪俣様をはじめ、大会期間中にお世話になりました全ての役員の皆様に心より感謝申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。